

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 27 年 11 月 19 日 (木) 15:30~16:30 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 須藤健一（館長） —

2. ニュースリリース

— 池谷和信（議長） —

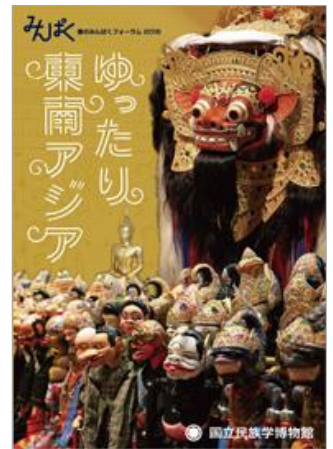
●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

3. 春のみんなくフォーラム ゆったり東南アジア

[詳しくはこちら](#)

多様な民族と文化が交錯し、熱気あふれる東南アジア。そこには意外なほどおだやかでのんびりした癒しの時間が流れています。舞踊や音楽などのイベントを通じて、ゆったりとした東南アジアの日常を体感してください。

- 12/ 5(土) 研究公演関連ワークショップ 11:00~
- 12/ 6(日) 研究公演 14:00~
ウィークエンド・サロン 11:00~
- 12/12(土) みんなく映画会 13:30~
- 12/13(日) ウィークエンド・サロン 14:30~
- 12/19(土) みんなくゼミナール 13:30~
- 12/20(日) ウィークエンド・サロン 14:30~ など



— 福岡 正太（文化資源研究センター 准教授） —

4. 研究公演「息づく仮面ーバリ島の仮面舞踊劇トペンと音楽」

[詳しくはこちら](#)

バリ島から、第一線で活躍中の舞踊家 2 名を迎え、仮面舞踊劇トペンを上演します。青銅製の打楽器を中心とする合奏ガムランを伴奏に、仮面を次々とつけかえて、いろいろな役を演じ分けていく様子をお楽しみください。ガムラン演奏と歓迎の舞踊を担当するのは、西日本を中心に活躍する日本人のグループです。関連ワークショップでは、バリの舞踊家の指導で、それぞれの役柄に特有なからだの動きを体験し、舞踊家がいかに仮面に命を吹き込んでいくのかを学びます。

日 時：2015 年 12 月 6 日 (日) 14:00~16:00 (開場 13:20)
場 所：国立民族学博物館 講堂
参加費：要展示観覧券（一般 420 円）／要事前申込
定 員：450 名

◆ 関連ワークショップ「仮面を生かす踊り」◆

日 時：2015 年 12 月 5 日 (土) 11:00~13:00 (開場 10:30)
場 所：国立民族学博物館 講堂
参加費：無料／要事前申込
定 員：40 名

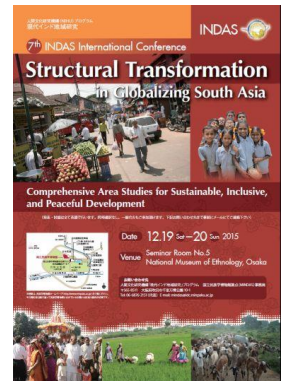


— 福岡 正太（文化資源研究センター 准教授） —

5. 国際シンポジウム The 7th INDAS International Conference 'Structural Transformation in Globalizing South Asia: Comprehensive Area Studies for Sustainable, Inclusive, and Peaceful Development'

詳しくはこちら

人間文化研究機構の「現代インド地域研究」プロジェクトは2015年度から第2期7年間の研究期間が開始されました。第2期では研究のより一層の国際化とともに、問題解決型の地域研究に取り組んでいきます。その皮切りの国際シンポジウムを12月19日、20日の2日間、国立民族学博物館で開催します。第2期プロジェクト、及び国際シンポジウムのねらいについてご説明します。



日 時：2015年12月19日（土）、20日（日）
場 所：国立民族学博物館 第5セミナー室
※発表・討論はすべて英語で行います。同時通訳なし。

— 三尾 稔（研究戦略センター 准教授） —

6. 学術公演「伝統と創意－台湾客家の工芸と音楽」（台湾文化光点計画）

詳しくはこちら

台湾ではさまざまな民族集団が住んでいます。客家はそうした集団の一つです。客家は漢族の一系統ですが特殊な文化や言語をもっています。今回は、台湾から著名な工芸家と音楽家を招き、美濃紙傘、客家藍染、そして客家八音、客家歌謡の紹介と実演をします。本イベントは、工芸と音楽を通して客家の言語・文化を知ることを目的としています。



日 時：2015年11月28日（土）13:30～16:50（会場 13:00）
場 所：国立民族学博物館 講堂
参加費：無料／申込不要
定 員：450名〔先着順〕
主 催：国立民族学博物館
共 催：台湾文化部「台湾文化光点計画」 後 援：台北駐日経済文化代表処

◆関連ワークショップ「台湾の客家文化産業——音楽と工芸」◆

日 時：2015年11月29日（日）13:00～16:50
場 所：国立民族学博物館 第4セミナー室
参加費：無料／要事前申込

— 河合洋尚（研究戦略センター 助教） —

7. みんなく×ニフレル

詳しくはこちら

国立民族学博物館（大阪府吹田市：館長 須藤健一）とニフレル（大阪府吹田市：館長 小畑洋、運営：株式会社海遊館）は、産学連携の推進、学術研究の振興、研究成果による社会貢献、その他の諸活動の発展に向けた連携協力をおこなうことを目的として協定を締結致しました。ニフレル開館記念として、トークイベント「みんなく×ニフレル—人と生き物をつなぐ」を共催致します。



トークイベント「みんなく×ニフレル—人と生き物をつなぐ」

日 時：2016年1月11日（月・祝）13:30～15:00
場 所：国立民族学博物館 本館第5セミナー室
定 員：100名／要事前申込（専用ウェブサイトより申込）
参加費：無料（当日は無料観覧日）
主 催：国立民族学博物館、株式会社海遊館（ニフレル）

— 上羽 陽子（文化資源研究センター 准教授） —

8. 民族学博物館×EXPOCITY

[詳しくはこちら](#)

EXPOCITYの開業に合わせ、無印良品ららぽーとEXPOCITYや吹田市情報発信プラザ「Inforest すいた」等と提携し、さまざまな催しを実施します。

- (1) 吹田市情報発信プラザ Inforest すいた
- (2) チャイハネ ららぽーとEXPOCITY
- (3) 無印良品ららぽーとEXPOCITY

— 池谷 和信（広報企画会議長 民族文化研究部 教授） —

9. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

「マリを知るための58章」

（竹沢 尚一郎 編著／明石書店）

— 竹沢 尚一郎（民族文化研究部 教授） —

10. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

「ミュージアムと負の記憶 戦争・公害・疾病・災害：人類の負の記憶をどう展示するか」

（竹沢 尚一郎 編著／東信堂）

— 竹沢 尚一郎（民族文化研究部 教授） —

11. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

「〈驚異〉の文化史—中東とヨーロッパを中心に—」

（山中 由里子 編／名古屋大学出版会）

山中 由里子（民族社会研究部 准教授） —

12. 研究こぼれ話

代理出産をめぐる最近の動向 — インドの規制強化から見えてくるもの

今年に入り、商業的代理出産の中心地として知られていたタイ、インドで相次いで外国人の利用が禁止され、これまでの国境を越えた生殖ツーリズムの動向が大きく変化しています。インドで生殖医療の利用が国内に限定された経緯と社会背景について概観します。

— 松尾 瑞穂（先端人類科学研究部 准教授） —



国立民族学博物館

懇談会についてのお問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話：06-6878-8560（直通）FAX：06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp

※その他の配布資料、海外渡航者一覧、外来研究員受入一覧（今月該当なし）、外国人研究員新規受入一覧（今月該当なし）ユニバーサルミュージアム論の新展開、みんなくワールドシネマ「イロイロ めくもりの記憶」、刊行物報告書「部分的つながり」（浜田明範他 訳著）